

取扱説明書

DAYTONA

R18986 ①/②

※取り付けする前に必ずお読みいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

※この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。

※この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡してください。

WINKER HOLDER PLATE

ウィンカーホルダープレート

適応代表車種

商品 No.

商品形状：HONDA-3
レブル 250(20)/レブル 500(20)/レブル 1100(21)
※上記車種のリア側用

18986

■ご使用前に必ずご確認ください■





※取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。

※商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行なっております。保証内容をご理解のうえ、

この取扱説明書と一緒に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

- 警告** 要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
- 注意** 要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

 実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	 禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
 感電注意	表記の注意を告げるものです。	 その他	その他の警告及び注意を告げるものです。

注意

- 純正ウィンカーの取り外し際は、車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業を行なってください。
- 作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行なってください。
- この商品は記載されている適応車種以外の車両には、取り付けしないでください。
- 取り付けは確実に行なってください。また走行中にネジ等が緩まないように、トルクレンチ等を使用して確実に締め付けてください。
- 取り付け後、約 100Km 走行しましたら各部を点検し、ネジ等の増し締めを行なってください。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常個所の点検を行なってください。異常があった場合は車両の使用や、走行を中止し販売店や認証工場へ相談してください。



感電注意

- ウィンカーの取り付け作業は、誤配線やショートにより感電や故障を起こす場合があります。作業を行なう前に必ずバッテリーのマイナス端子を外してください。



その他

- この商品は単独装着ができません。取り付けネジ径が M8 サイズのウィンカーまたは、ウィンカステーを組み合わせてご使用ください。
- この商品は純正フェンダー等の純正ウィンカー取り付け部専用品です。
- 純正フェンダー等のウィンカー取り付け穴をはさみ込む取り付けです。1ヶ所に 2 枚使用します。
- この商品の取り付け後、取り付け部分や塗装面に傷がつく可能性があります。あらかじめご了承ください。
- この商品は汎用性を高めるため、純正フェンダー等のウィンカー取り付け穴より小さく設計しております。
- アルミ製アルマイト仕上げの商品は、ご使用期間と共に変色や色あせが発生する場合があります。またアルマイトの性質上、使用環境によっては早期色あせや、腐食が発生する場合があります。
- 機能を重視した商品です。外観にバリやキズがある場合があります。取り付けの際は、保護手袋を着用してください。
- この商品は予告無しに仕様を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 本商品の特徴 ■

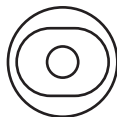
・純正ウインカーの取り付け穴をΦ8の穴径に変換できるプレートセットです。

■ 商品内容 ■

No	パーツ名	サイズ	数量
①	ホルダープレート 1	ウインカー取付穴径Φ8	2
②	ホルダープレート 2	ウインカー取付穴径Φ8	2



①ホルダープレート 1
※リアフェンダー外側に使用



②ホルダープレート 2
※リアフェンダー内側に使用

■ 取付方法 ■

1. 純正リアウインカーを取り外します。(車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照してください。)
2. ①ホルダープレートの形状と純正ウインカー取り付け穴の形状が合うことを確認します。
その後、純正フェンダーをはさみ込むように外側から①ホルダープレート 1 をセットし内側から②ホルダープレート 2 をセットします。別売の M8 サイズのウインカーまたはウインカーステーを取り付けしてください。
※必要以上の締め付けは、純正フェンダー側を破損する場合がありますのでおやめください。
3. 各分を点検し、異常が無ければ作業は終了です。

